

2025年度

事業報告書
決算報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)



一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

(目次)

事業報告書	頁
1. 総括	3
2. 理事会・評議員会に関する事項	6
3. 組織及び職員に関する事項	8
4. 事業の実施に関する事項	11
(1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等	11
(2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発	11
(3) 介護技術等研修事業	12
(4) 苦情解決第三者委員会	12
(5) 介護老人保健施設事業	13
(6) 通所リハビリテーション事業	13
(7) 訪問リハビリテーション事業	13
(8) 通所介護事業(池ノ島デイサービスセンター)	14
(9) 訪問看護事業	14
(10) 訪問介護事業	15
(11) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業	15
(12) ごてんやま居宅介護支援事業	16
(13) こはま居宅介護支援事業	16
(14) 御殿山地域包括支援センター事業	17
(15) 小浜地域包括支援センター事業	18
(16) 障害者指定・特定相談支援事業	19
(17) シルバーハウジング生活援助員派遣事業	19
(18) ファミリーサポートセンター(育児)事業	20
(19) 介護ファミリーサポートセンター事業	20
(20) 高齢者生活機能評価等業務(訪問型サービスC)	21
(21) 介護予防普及啓発事業(いきいき百歳体操)	21
(22) ステップはつらつ体操教室	21
(23) 認定調査ステーション	22
(24) 視察等受入状況	23
決算報告書	
1. 正味財産増減計算書	27
2. 正味財産増減計算書内訳表	29
3. 貸借対照表	33
4. 財産目録	34
5. 財務諸表に対する注記	35
6. 附属明細書	38
監査報告書	
1. 監査報告書	41

2025年度
事業報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

1. 総括

2025年度は、公社設立30年を迎え、7月には役員、職員をはじめ、主賓には宝塚市長等を招いた記念パーティを行う節目の年となりました。そして、宝塚市長の掲げられている「たからづかモデル」に当法人の名も入り、益々、法人の掲げる経営理念を推進する使命と宝塚市における福祉公社の存在意義について再認識することとなりました。

事業運営面では、前年度人員減となっている事業への採用活動を強化し、新たな人材の育成、定着を目指しました。そして今後の法人運営として、実施事業と言われる公益目的事業と介護保険事業についての在り方を考え、課題を宝塚市高齢福祉課と共有しました。また、宝塚市より委託事業であった介護ファミリーサポート事業が、当法人自主事業「ステップファミサポ」としての運営となりました。障害部門では、今年度より宝塚市基幹相談支援センターへ職員が1名出向しております。

管理面では、2024年度よりコンサルタントを交え検討していました人事管理制度改正に向け職員説明会を開催、また、以前から懸案としていました給付管理部門の一元化に着手することにより、今までの属人的な給付管理によるリスク回避に取り組みました。さらにICTシステムにおけるセキュリティの見直し、メールソフト、ホームページ等のPC関連に係る整備を進めました。一方、事業面では、人材確保に苦慮しており、職員の働き方についても多様化、法改正等により子育て世代にも働きやすい環境の整備に努めた結果、十分な人員体制を整えることができませんでした。そのような中、サービスにおける質の維持・向上は引き続き努めていますが、訪問系事業では前年より事業量、収益が減となっております。しかし、相談系事業においては、事業量、収益共に増え、特に人員が揃ったステップ相談支援センターベルフラワーは大きな伸びとなりました。

上記の結果、介護保険事業における収入は、1,162,246,857円（対前年度比98.7%）、支出については、1,106,295,467円（対前年度比101.9%）となり、収支差額は55,951,390円と前年度と比べ△35,277,131円と大きな減益となりました。

また、公益目的事業の収入につきましては、対前年度比9,045,613円減の60,271,474円、支出については対前年度比△8,220,232円減の88,654,056円となり、この結果、収支差額は前年度と比べ825,381円増え、△28,382,582円となりました。

これを受け、2025年度における当公社の収支決算につきましては、経常収益1,225,128,288円、経常費用1,213,350,757円、収支差額は11,777,531円と対前年度比△32,602,894円の大幅な減益となり、チャレンジプラン収支目標を大きく下回る結果となりました。減益要因の一つとして、移行法人となってから、今まで課税とならなかった法人税の課税が大きく影響しており、今後介護保険事業で収益を上げる際には、常に考えておくべき事柄であると再認識しております。4期連続の黒字決算結果を受け、職員の処遇改善、内部留保への利益配分を予定しております。

各部門における総括は次のとおりとなります。

(1) 管理相談部門

総務課においては、職員の入替わりと共に属人化していた業務の刷新とマニュアルの作成に取り組みました。また2026年度に控えた人事制度改革を意識しながら、新しい体制に向けた準備を行いました。総務部門では、理事評議員の改選、ホームページ委員会が始動し、各事業担当と共に新たなホームページを作成し、3月には公開をするこ

とことができました。また、人材確保においても人材会社と協議を重ね、補助金を利用した掲載等、色々な取り組みを行いました。財務部門では、12月より一元化した給付管理チームと事業ごとのフロー、また組織変更後の流れについても整理しました。管理部門では、数年来の懸案であったメールソフトの変更を行うと共に、PC関係でのセキュリティ研修の実施をはじめとしたIT関連に関する整備をすることができました。

地域福祉課については、両包括支援センターにおいて、8月にキントーンを導入することができ、高齢福祉課や権利擁護支援センターとの共有がスムーズに図れるようになりました。障害相談支援事業については、4月より基幹相談支援センターに1名が出向となり、人員体制を新たにしました。特定相談では、新規相談での依頼、また子ども発達支援センターからの依頼も毎月受けて計画を作成し、事業量は前年比132.1%となりました。委託相談においても障害福祉課基幹相談職員とも連携して障がい者に寄り添った活動を行うことができました。ファミリーサポートセンター事業では、育児部門では安定した活動を続けており、新しく自主事業となった介護部門においても、スタッフが丁寧な説明をすることで会員の方が安心して活動できるように心がけました。地域リハビリについては、いきいき百歳体操を宝塚市の意向に沿いながら進め、はつらつ高齢者体操は、周知活動に努めた結果、安定した運営を実施することができています。

居宅サービス課では、ごてんやまケアプランステーションにおいて、管理者が考えるフローを徹底して実施した結果、事業量は前年比114.5%と好調となりましたが、こはまケアプランステーションにおいては、新人ケアマネジャーの人員配置により、収支差は減少していますが、事業量は前年比104.9%と微増になりました。二つのケアプランセンターにおいては対照的な収支差となっており、今後の検討課題と考えております。また、認定調査については、年間の調査受理件数の安定により、職員への割り当て件数管理が一時に比べ容易になりましたが、認定調査員の高齢化による働き方の変更等により、新たな認定調査員の採用も含め、運営は引き続き厳しいものとなっています。

(2) 事業部門

訪問サービス課では、訪問看護ステーションにおいて人員体制が減少し、事業規模縮小につき事業量が98.8%と微減しております。ヘルパーステーションにつきましては、職員の高齢化や退職等により事業量としては前年度比82.4%と減少したものの人件費等の支出も前年度比84.0%と抑えられていることから収支差が△6.9万円大きく落ち込むことなく経過しております。24hケアステーションは上半期に人員減となり下半期には補充されたのですが、看取りケアなども増え減少した事業量を補うまでに至らず収支差△131万円となっています。制度改正で新設された夜間のみ訪問も積極的に受け入れ事業回復に向け取り組んでおります。特に訪問においての介護看護職不足という課題は尽きませんが定期巡回事業を中心とし訪問看護やヘルパーの訪問事業は在宅生活を支えるうえで必要不可欠なものと考え今後も一役を担っていきたくと考えております。

入所サービス課では、超強化型老健としての加算は算定継続していたのですが10月から12月にかけて新規入所依頼が激減し稼働率に大きく影響いたしました。その結果年間平均稼働率も94.1%と目標の97%には及ばず前年度比収支差が△2,870万円と大きく減少しました。しかしながら年度末の単月ですが開設以来初めて稼働率100%を達成できました。

リハビリテーション課の通所リハビリテーションにおきましては、人員体制を整え事

業量 102.6%と微増し支出を抑えた結果、収支差 388 万円の黒字となっております。訪問リハビリテーションは事業量 105.8%と微増し事業規模は小さいながらも安定した運営が図れております。

通所サービス課の池ノ島デイサービスセンターは、子育て世代の職員が多く人員体制において急な休みの職員が増え、事業運営に大きく影響し事業量も 87.7%と大幅減となり収支差も△1,918 万円となりました。制度改正によるリハビリ加算減額の影響も大きいですが、人員体制を整え新たな加算算定などを含め、改善に向けて取り組んでまいります。また LSA 事業では、地域交流を積極的に行い介護予防の一躍も担っております

池ノ島デイサービスセンターおよびステップハウス宝塚北棟、南棟の設備面においても経年劣化による不良箇所も次々とみられ、ハード面においての修繕課題もありますが、ICT 化を進めながらさらなる環境整備への取り組みを行うことにより、事業の安定に努めてまいります。

2. 理事会・評議員会に関する事項

(1) 理事会

区分	日時・場所・付議事項	結果
第1回 定時	2025年6月9日(月) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム	
	議案第1号 2024年度事業報告の承認について	承認
	議案第2号 2024年度決算報告の承認について	承認
	議案第3号 公益目的支出計画実施報告書の提出について	承認
	議案第4号 任期満了に伴う理事・監事及び評議員の選任について	承認
	議案第5号 2025年度第1回定時評議員会の開催について	承認
	報告第1号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社、規程改正について	報告
報告第2号 2024年度下半期の発生事故について	報告	
第2回 定時	2025年12月8日(月) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム	
	議案第1号 2025年度上半期経営状況について	承認
	報告第1号 2025年度上半期の発生事故について	報告
第3回 定時	2026年3月9日(月) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム	
	議案第1号 2026年度事業計画について	承認
	議案第2号 2026年度収支予算について	承認
	議案第3号 任期途中による理事の交代について	承認
	議案第4号 2025年度第1回臨時評議員会の開催について	承認
報告第1号 2026年度組織体制変更について	報告	

(2) 評議員会

区 分	日 時 ・ 場 所 ・ 付 議 事 項	結 果
第1回 定 時	2025年6月25日（水） 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム 議案第1号 2024年度決算報告の承認について 議案第2号 任期満了に伴う理事・監事及び評議員の選任について 報告第1号 2024年度事業報告について 報告第2号 公益目的支出計画実施報告書の提出について 報告第3号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社、規程改正について 報告第4号 2023年度下半期の発生事故について	 承 認 承 認 報 告 報 告 報 告 報 告
第1回 臨 時	2026年3月23日（月） 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 北棟2階レクリエーションルーム 議案第1号 任期途中による理事の交代について 報告第1号 2026年度事業計画について 報告第2号 2026年度収支予算について 報告第3号 2026年度組織体制変更について	 承 認 報 告 報 告 報 告

3. 組織及び職員に関する事項

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社役員名簿

2026年3月31日

(理事・監事)

(評議員)

	役員の種類	名 前	備 考
1	理 事 長	妙 中 信 之	ステップハウス 宝塚施設長
2	副 理 事 長 常 務 理 事	岸 本 和 夫	公社副理事長 常務理事
3	理 事	今 中 秀 光	宝塚市立病院 病院長
4	理 事	小 田 中 理	宝塚市 歯科医師会 理事
5	理 事	浦 野 のり子	宝塚市 第四地区 民児協会長
6	理 事	島 田 康 治	宝塚障害福祉 市民懇談会会長
7	理 事	廣 瀬 哲 司	宝塚市医師会 理事
8	理 事	福 本 芳 博	宝塚市社会福祉 協議会理事長
9	理 事	神 川 智 子	宝塚市薬剤師会 理事
10	理 事	米 田 直 人	公社 事務局長
11	監 事	松 尾 隆 寛	よつば法律事務 所 弁 護 士
12	監 事	西 尾 晃 一	宝塚市 会計管理者

	名 前	備 考
1	藤 井 博 志	関西学院大学 人間福祉学部 教授
2	八 木 誠	宝塚さざんか福祉会 運営部長
3	佐 伯 聡 子	宝塚市 健康福祉部長
4	吉 村 雅 子	宝塚市自治会 連合会理事
5	村 山 眞 子	宝塚市 老人クラブ連合会 会長
6	○ 松 藤 聖 一	こむの事業所 代表理事
7	○ 山 田 精 一	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 在宅・福祉関西ブロック長 兼 宝塚せいのの里 総園長
8	和 田 縉 市 朗	宝塚さくら福祉会 理事長

○
苦情解決第三者委員

職員区分別人数

2026年3月31日現在

(単位：人)

	理事長 (施設長 兼職)	副理事長 (常務理事 兼職)	事務局長	部長	課長	係長	主任	再雇用	出向職員	正規職員	臨時職員	合計	構成比
事務職		1	1	2	5	4		1		10	10	34	13.4%
医師	1											1	0.4%
看護師						1	3			17	13	34	13.4%
薬剤師											4	4	1.6%
理学療法士						1				9	3	13	5.1%
作業療法士						2	1			2	1	6	2.4%
言語聴覚士										1		1	0.4%
介護職						8	2	2		29	46	87	34.4%
介護支援専門員						2	1	1		5	18	27	10.7%
相談員						4			1	12		17	6.7%
認定調査員											7	7	2.8%
管理栄養士						1					1	2	0.8%
運動指導員											3	3	1.2%
設備										1	2	3	1.2%
清掃											6	6	2.4%
運転手											8	8	3.2%
合計	1	1	1	2	5	23	7	4	1	86	122	253	
構成比	0.4%	0.4%	0.4%	0.8%	2.0%	9.1%	2.8%	1.6%	0.4%	34.0%	48.2%		

4. 事業の実施に関する事項

(1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等

- ア 保健福祉サービスに対するニーズの把握及び関係機関との調整を行った。
- ・宝塚市介護保険事業者協会 各部会・定例会、研修会等への参加、宝塚市主任介護支援専門員連絡協議会への参画
 - ・宝塚市地域において活動する介護保険、医療保険関係者の協会に加入する等随時、保健福祉関係団体との連絡調整を実施
 - ・地域包括ケアシステム研究会 ～3つの若葉を育てる会～ 共催者会への参加

イ 職員全体研修

- ・第1回 2025年11月19日
研修テーマ：「安全運転講習会」
参加人数 19名
- ・第2回 2025年11月26日
研修テーマ：「はじめての情報セキュリティ研修」
参加人数 34名

(2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発

ア 広報「たからづか」への掲載

- ・育児ファミリーサポートセンター
 - 5月号 春の無料講座のご案内・サポーターの募集
 - 8月号 秋の無料講座のご案内
 - 11月号 ファミリーサポートセンターに登録しませんか
- ・介護職員初任者研修過程（旧ホームヘルパー2級養成研修）
 - 4月号・10月号 介護職員初任者研修受講生募集
- ・訪問型サービスA事業従事者養成研修
 - 5月号・10月号・2月号 生活支援ヘルパー養成研修の受講者を募集

イ 公社広報誌

- ・「えがお」No. 60の発行 2025年10月
特集「祝！創立30周年記念パーティー開催！笑顔と感謝があふれる一夜！」

- ・「えがお」No. 61の発行 2026年3月
特集「ステップハウス宝塚 通所リハビリテーション」

ウ 講習会・交流会の開催

- ・ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等（別添資料18P）
- ・介護ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等（別添資料20P）

(3) 介護技術等研修事業

ア 地域に出かけるヒューマンケア講座（認知症サポーター養成講座を含む）

- ・御殿山地域包括支援センターの介護・健康教室（別添資料10P）
- ・小浜地域包括支援センターの介護・健康教室（別添資料12P）

イ 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級養成研修）

- ・24期 2025年5月8日 ～ 2025年7月16日
受講生8名（内、開講後辞退1名）
- ・25期 2025年11月6日 ～ 2026年1月19日
受講生5名

ウ 訪問型サービスA事業従事者養成研修

- ・2025年 6月開講 受講生14名
- ・2025年 10月開講 受講生15名
- ・2026年 2月開講 受講生11名

(4) 苦情解決第三者委員会

2025年6月25日（水） 参加者 : 竹谷 輝男 委員
村山 眞子 委員
岸本常務理事（苦情解決責任者）
米田事務局長
平岡事業部長
森脇管理部長
後藤総務係長

(5) 介護老人保健施設事業（ステップハウス宝塚）

2025年度は4月、6月、8月と立て続けに新型コロナウイルス陽性者が発生しましたが、適切な初動対応によりいずれもクラスター化することなく終息いたしました。その結果、上半期の稼働率は96.8%と高い水準を維持する事が出来ました。

しかしながら10月以降は入所相談件数の減少に伴い入所に繋がるケースも減少し、逆に退所件数が入所件数を上回る状況が続いたため、稼働率が80%台まで落ち込む事態となりました。さらに11、12月にかけて新型コロナウイルス陽性者の発生が重なり、稼働率80%台の状況が12月まで続きました。1月以降は90%以上に改善したものの、年間平均稼働率は94.1%となり、目標の97%には至りませんでした。

一方、職員の意識改革と多職種連携により、在宅復帰率は目標50%に対し58%超、入所・退所前後訪問指導割合はいずれも目標35%に対し75%超、短期集中リハ加算・個別リハ加算の算定回数は目標650回に対し750回超といずれも目標をクリアすることが出来ました。今後も多職種連携を継続し、目標達成にむけ取り組んでまいります。

(6) 通所リハビリテーション事業

2025年度は、新たな取り組みとして「短時間（午後2時間）リハビリ特化型コース」を開設しました。9月に木曜日、10月に火曜日、1月に金曜日と徐々に開催日を増やし、週3回の開催に至りましたが、1日平均利用者数は21.3人（目標22人）と若干目標数値には届きませんでした。

利用稼働率の改善策として、昨年度に引き続き体験・見学の受け入れを随時対応するとともに、送迎エリアを拡充しました。中重度要件に関しては、9月に1度30%を下回る事がありましたが、その後は33%前後を推移しています。3月よりスタッフ数も増加し、リハビリ分野を中心に行事やレクの充実化を図るとともに短時間コースへの関わり等も積極的に行い、事業の充実化に努めました。今後も職員一同連携を密に図り、目標達成にむけ取り組んでまいります。

(7) 訪問リハビリテーション事業

2025年度は、1日平均利用者数：7.5人（前年7.1人）で、要介護者：平均6.0人（前年度5.6人）、要支援者：平均1.5人（前年度1.5人）となっており、目標の8人には届きませんでした。昨年度より要介護者の利用が若干増加した点で成果となりました。要支援者の平均利用者数が伸びなかった理由については、要支援者の中で機能改善により卒業（終了）されるケースが複数あり、要支援者に対する訪問リハビリについても一定の効果があるものと捉えています。また、稼働単位数については、平均328単位/月（目標360単位）で稼働率は目標に届かなかったものの、前年度（平均315

単位／日)より稼働単位数は増加し、収益増となりました。

主な実績と取り組みについては、市内の地域包括支援センターや居宅介護事業所からの無料相談を積極的に受け入れ、利用につなげる取り組みを継続することで一定の成果が得られました。また、老健退所者への円滑な移行支援も行いました。入所中から介入を行い、退所後スムーズに訪問リハビリを開始できる体制を構築しました。そして、職員の体調不良等による欠勤等に備え、代行対応が可能な職員の配置や体制整備を行うことで、継続的なサービス提供を維持することができました。

(8) 通所介護事業(池ノ島デイサービスセンター)

池ノ島デイサービスセンターでは、半日コース・一日コースのサービス提供をしており、「理学療法士」「作業療法士」を常勤で配置し、看護師とも連携することで在宅生活を支えるリハビリを提供しております。また、介護職・看護職中心に食事面や入浴による保清などからの体調管理及びレクリエーションや集団体操など、精神面の活性化にも努めております。また、事業規模を大規模サービスから通常規模への変更を見据え、新規の利用者獲得を控えた事、中重度者ケア体制加算の算定が困難になったことが重なり、事業収益は減少となりました。2026年度は事業規模を大規模サービスでの算定とし、再度利用者の獲得を積極的に行っております。加算に関しては、LIFE(科学的介護推進体制加算)の取得を新たに開始し、2026年度ではADL維持加算や口腔・栄養スクリーニング加算など、算定可能と見込まれる加算算定の準備、算定を行い、事業収益の改善を行ってまいります。内部体制の観点からは、デイ送迎可能職員の不足や急な休みによる欠員により、シフト調整に苦慮しておりますが、全員で協力し助け合い乗り切っています。また、帳票類の作成など時間の要する事務作業においてAIの活用や効率化を図る事による時間短縮に努めていきます。

新規利用者の受け入れは、営業活動の効果があり、順調に増加しており、今後もホームページ等を活用し、池ノ島デイサービスの魅力を発信する事により、利用者や家族様から選んで頂ける満足度の高いデイサービスになるべく、サービスの質の向上を目指してまいります。

(9) 訪問看護事業(ステップこはま訪問看護ステーション)

2025年度の訪問看護では、在宅の看取りが上半期で7名、下半期9名の計16名と過去最高となりました。近隣に訪問看護ステーションが増える中、稼働率は年間を通して90パーセントを超えています。24時間の緊急訪問看護契約者も9割となり、土日祝の訪問頻度も増えた為、土・日曜の勤務時間が増えています。

看護の内容についても、持続点滴ポンプや持続皮下注用ポンプなど、医療機器を使用している利用者も増えました。重症の褥瘡やドレーン挿入中の利用者もおられます。医療機器や点滴の事故防止対策として①同行訪問を増やし、②動画研修をカンファレンス

で活用し、③情報伝達を目的に朝の訪問時間前のミニカンファレンスも始めたことで、それぞれ経験値の違う看護師が不安なくケアが行えるよう工夫しました。2026 年度もこうした取り組みは継続していきます。

人員体制ですが、3月末に常勤1名が退職となり、縮小傾向です。年間を通じて人材募集をしていますが、常勤職員ではなく、4月から非常勤職員2名の採用が決まりました。体制上は人員不足であり、人材確保には苦慮しているところです。

(10) 訪問介護事業(ステップこはまヘルパーステーション)

当事業所は、内外の居宅介護支援事業所から安心してケアを任せられる事業所として信頼をいただき、新規利用者の獲得を毎月継続するとともに、ケア内容の見直しや追加提案を行い、収益増加を目指しました。しかしながら、利用者の入院や逝去、キャンセル等が重なり、結果として目標に達することはできていません。人員減の状況が続く中、6月には非常勤サービス提供責任者が常勤となり、また法人内職員の兼務による従事者1名を配置し、10月には生活支援ヘルパー1名が入職しました。さらに、1月には管理者の異動があり、運営体制に変化がありましたが、大きな混乱なく運営できました。

また訪問型サービスAへの移行については、事前に計画を策定し、10月より段階的に実施し、10月から緩和型推進評価加算の算定を開始することができました。従来サービスの継続を希望され、他事業所へ移行されたケースが1件ありましたが、利用者およびケアマネジャーの理解を得ながら進めた結果、3月までに約40名弱の移行を完了しました。

(11) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業(ステップこはま24hケアステーション)

2025年度の平均利用者数は19.8名と前年度より1.2名減少しています。4月に人員の補充ができず、利用者と従事者のバランスが崩れてしまい、新規も受け入れ困難が続いたことが影響したと考えます。下半期に1名の非常勤採用に伴い、利用者数の獲得ができるようになったものの、重度の看取りが相次ぎ、終了者も多くありました。営業も重ね、新規の受け入れを続けましたが、利用者数の維持が精一杯でした。収入も前年度より減収となりましたが、利用者数の減少が大きな要因です。

内部体制の取組みとして、会議では常勤主体の研修や利用者の情報共有を主に行い、スタッフのスキルアップ・利用者の生活の質の向上に繋げることができました。季節イベントを今年度も実施し、様子をホームページにも掲載しました。地域との繋がり・福祉サービスの周知活動として、若年層対象に中学校～高校への出前講座も行いました。夜間型(Ⅲ)についても居宅に広報活動を行い、新規獲得につながっています。

(12) ごてんやま居宅介護支援事業

2025年度は、事業所定員8名での体制のもと順調なスタートを切りました。各ケアマネジャーが目標件数を常に意識し、新規受入を積極的に取り組んだ結果、年間で99件の新規受入を達成しました。さらに、全ケアマネジャーがそれぞれの目標件数を達成し、目標達成後も動向予測をしながら継続して新規受入を行うことで、安定した給付件数の維持ができたことが大きな成果と感じています。

また、週1回の定例会議においては、ケース共有や社会資源に関する情報交換、ケアプラン点検項目マニュアルの読み合わせなどを継続的に実施し、事業所全体で学習する機会を確保することで、ケアマネジメントの質の向上に取り組みました。加えて、2024年度に引き続き地域包括支援センターからの困難ケースへの対応や地区ケアマネ交流会への定期参加を継続し、地域との良好な関係構築と連携強化にも努めています。

全体として、チーム内での情報共有やフォロー体制が機能し、個々のスキル向上と事業所全体の実績向上の両立が図れた一年となりました。

今後も引き続き、質の高いケアマネジメントの提供とライフワークバランスに留意しながら働きやすい職場作りに取り組み、安定した事業所運営に努めてまいります。

(13) こはま居宅介護支援事業

2025年度は人事異動でケアマネジャー1名を加えた6名体制となり、「思いやりの心と言葉で寄り添える居宅を目指す」ことを目標としました。「質の向上」「経営の安定」「地域貢献」を軸に、新人教育とケアマネジャーの知識や習慣を振り返りました。定期ミーティングでの勉強会や必要に応じたケース検討を行い、様々なケースやニーズへの対応力の向上にも努めました。ケアマネ交流会や居宅部会の研修にも積極的に参加し、それぞれの学びや気づきを共有しました。2024年度と同様に、地域包括からの区分変更ケースや困難事例ケースの相談に柔軟に対応することにより、各方面の地域包括やリハビリ病院等からの相談もあり、地域に根付いた居宅として関係性の構築と連携の強化を図りました。

事業所全体で2025年度の目標件数を達成することは出来ませんでした。新人ケアマネジャーが経験を積んだ1年であり、各ケアマネジャーは2026年度も引き続き、目標件数を意識した新規相談の対応を行ってまいります。

(14) 御殿山地域包括支援センター事業

2025年度は、3.4.7地区合同で、ケアマネ交流会の定期的な開催を行いました。2025年度は総合事業の見直しがあり、制度の変更に伴う都度訪問型、通所型の変更点等の確認、周知を行い、制度の共通理解が出来るように、ケアマネ支援を行いました。ケアマネ同士の交流を図ることで、日々の繋がりを持てるようにし、顔の見える関係づくり、相談のしやすい関係となるような活動を心がけました。

2025年度も市民、キッズ向けの認知症サポーター養成講座、レベルアップ講座の企画開催をしたところ、マンション自治会での、認知症サポーター養成講座では、ご夫婦での参加もあり、普段話せないことを話す良い機会になったという声がありました。認知症サポーター養成講座参加者との交流では、デイサービスでのお話しボランティアへの参加に繋がりました

また、圏域内の事業所（リハビリ型デイサービス）と連携し、介護予防につながる講話や指導の実施により、顔の見える関係づくりなど地域包括ケアシステムにつながるような土壌作りをすることができました。市内包括全体の看護職会議が年2回開催され、介護予防に関する各包括の取り組みについての情報交換では、他地区の取り組みを御殿山圏域でも取り入れるなどの有益な繋がりの場となりました。

いきいき百歳体操は新たに1カ所（サウステラス：マンション集会室）立ち上がりました。また28カ所のいきいき百歳体操の各グループに適宜訪問し、高齢福祉課と連携しながら後方支援を実施しました。年2回実施した包括出張相談会（中央図書館、コープ売布）の中で、いきいき百歳体操のDVDを流して体操実演、体験会を行ったところ、コープ売布はいきいき百歳体操の実施会場でもあったため、数人の方がコープ売布での継続参加に繋がりました。

高齢者虐待については虐待につながる可能性のあるケースをセンター内ほか、市、権利擁護支援センター等関係機関で随時共有し、迅速な対応によって早期発見、防止に努めました。身寄りのない高齢者の支援や消費者被害、特殊詐欺、虐待、複合課題ケースに対応するため、市、権利擁護支援センターおよび司法職等と協働し、課題解決にむけて成年後見制度の活用を促進しました。権利擁護業務全般への対応力の向上をめざし、市主催の研修に参加するとともに他地区の専門職と事例の共有や意見交換の場をもち、2026年度にむけて勉強会の企画会議を実施しました。

(15) 小浜地域包括支援センター事業

2025年度は、行政・社会福祉協議会・介護サービス事業所等関係機関との会議、研修会等は活発となり、良い連携体制の構築を重ねていくことができました。民生委員をはじめ、地域住民とのコミュニケーションも取りやすくなり、積極的にアウトリーチが行える状況となりました。4 地区地域生活支援者会議、校区会議、公営住宅自治会長交流会等にも参加、そして地区センター、スマレンとの連携会議も主催し、多世代・家族支援等、複合的な課題を抱えたケースへの理解、対応力の向上も目指しました。

認知症施策の推進においては、認知症地域支援推進員として市のオレンジワーキングメンバーに所属し、地域において認知症講座や認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の正しい知識や理解が深まるよう働きかけ、相談を通じて地域住民や担当ケアマネ、障碍分野や行政・各相談機関との認知症支援ネットワークの構築に努めました。また、小浜小学校4年生に向けたキッズ認知症サポーター養成講座の開催は、コロナ以後初めて実現しました。小浜包括機関紙「ぱらそる」にてオレンジカフェの周知を目的とした特集をしました。

介護予防の推進ではいきいき100歳体操やサロン等に積極的に参加し、フレイル予防や健康情報の発信、新規立ち上げグループの後方支援を行いました。包括の周知だけではなく地域の方や代表の方との関係づくりを重視し、困りごとや支援が必要な方の把握を行い必要な支援へ繋いできました。

地域のケアマネジャーとの連携の面では3.4.7地区の定期交流会を行い、スキルアップとネットワーク・支援体制の構築を継続しています。権利擁護の観点から、虐待に関する研修、成年後見制度への理解を深めることを軸に市と権利擁護支援センターと共に勉強会の企画・開催も行いました。自立支援型地域ケア会議の中では、事例提供者の後方支援として、アセスメントや振り返り、課題など共に考えました。総合事業の見直しの面ではケアマネジャーや介護サービス事業所からの問い合わせに対応できるべく、情報・知識の習得に尽力しております。

権利擁護（虐待、消費者被害、成年後見制度）の分野では、ケースを俯瞰的に見て、本人の思い、立場を尊重することを第一に考え、行政・権利擁護支援センターとの連携をしております。職員全体の対応力を上げるべく、事務所内での事例検討会の開催や研修会への参加、専門職間での情報共有を密に行うことができました。

(16) 障害者指定・特定相談支援事業（ステップ相談支援センター ベルフラワー）

特定相談支援事業では、障害福祉サービスのご利用を希望されている市内全域を対象とした（一部市外利用者も対応）障がい者・児童の様々な相談と、サービス利用時のプラン作成を行っています。

2025年2月より相談支援機能強化型Ⅰの指定を継続し、更に今年度は相談支援専門員を増員し、給付管理件数・請求金額も緩やかではありますが右肩上がりに推移する事が出来ました。

また、市から委託を受け、第3地区を担当している委託相談支援事業では、地域の相談窓口として2024年度より一層市民への周知活動に力を入れ取組ました。土曜日・日曜日に開催される各小学校区のコミュニティの会議や行事にも積極的に参画し、顔の見える関係構築が進んだことで、その場で直接相談される場面も増えたと実感しています。

今後も障がいのある方やそのご家族などから様々なお困りごとや悩みごとをお聞きし、安心した生活を送っていただけるように、各サービス・プランの調整や悩み事の解決方法を本人の意思決定を尊重し、一緒に考えてまいります。

(17) シルバーハウジング生活援助員派遣事業

当事業は、宝塚市からの受託事業で、市内にある8住宅の緊急通報システム付きのシルバーハウジングを生活援助員が毎日巡回訪問し安否確認を行なっています。近年、居住者の高齢化に伴い、緊急訪問等の頻度が増加傾向にあります。

訪問時には、体調や生活相談等を受け、必要時には地域包括支援センター・担当ケアマネジャーとの速やかな連携が行えるよう、安心できる在宅生活の支援に努めています。地域交流会においては、感染対策を行ないながら、フラワーアレンジメントや季節に合わせた作品の作成やカラオケなど、地域の方々が楽しんで頂ける内容を検討し、12回実施しました。2026年度は、地域交流の機会を増やせるよう定期的な茶話会の再開、防犯・防災意識を高めて頂けるような企画を行い、月1回以上の交流機会を持って頂けるよう努めて参ります。

(18) ファミリーサポートセンター（育児）事業

ファミリーサポートセンター（育児）事業は、宝塚市からの受託事業として実施しており、乳幼児や小学生等の児童を養育する子育て家庭を対象に、育児の相互援助活動の推進を目的としています。具体的には、育児に関する援助を受けたい会員と、援助を行いたい会員との間で、援助活動に関する連絡・調整を行い、地域における育児支援体制の構築と、ひとり親家庭等の多様なニーズへの対応を図るものです。

2025 度は、家庭児童相談課や健康推進課、子ども発達支援センター等の各専門機関と密に連携し、個別の配慮や細やかな調整を必要とするケースに重点的に取り組みました。相談内容が多岐にわたり、一つひとつの調整に時間を要する場面も増えましたが、関係機関と足並みを揃えることで、より確実な支援に繋げることができました。

また、子育て観の多様化に合わせ、提供会員を対象とした講座の内容も工夫しました。現代の子育て事情や多様な家庭のあり方への理解を深める機会を設けたことで、提供会員が自信を持って活動に臨めるようフォローアップに努め、地域における支え合いの質を維持・向上させることができたと考えております。

(19) 介護ファミリーサポートセンター事業（ステップファミサポ）

本事業は、高齢者等に対して、簡易かつ補助的な援助を地域住民同士で行う相互援助活動を目的とした仕組みです。援助の内容は、日常生活を営むうえで、ちょっとした支えがあれば自立した生活を継続できるような場面における支援を中心に、センターが適当と認めた範囲内での生活支援を行っています。利用料金（報酬）については、あらかじめ定めた料金に基づく有償ボランティアとして運営しており、交通費は実費、その他活動にかかる費用についても依頼会員が負担する仕組みとなっております。

2025 年度は、自主事業として通年運営を行った最初の 1 年となりました。完全な自主事業化に伴い試行錯誤は続きましたが、「市民間の助け合いの場」という原点を大切に事業を推進いたしました。

2025 年度は依頼件数は微減したものの、提供会員による車両送迎サポートの拡充など、支援の幅を広げる工夫を凝らし、年度末に向かってサポート件数が伸びました。また「あんしんサポートセンター」等の専門機関とも新たに連携し、複雑な背景を持つ依頼会員への対応も進めております。

運営面では、職員と提供会員の強固な信頼関係を基盤に、事前の丁寧な状況共有を徹底することで、事故やトラブルのない安全な支援体制を維持しました。自主事業の強みを活かし、今後も地域住民同士をつなぐ結節点としての機能を果たしてまいります。さらに、2025 年度より開始された宝塚市の「訪問型サービス B」にも参入いたしました。現時点での実績は少数ですが、スタートしたばかりの本事業の発展に向け、2026 年度以降も注力してまいります。

(20) 高齢者生活機能評価等業務（訪問型サービスC）

当事業は、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスC（専門職の訪問により生活機能に関する問題を総合的に把握、評価し、社会参加を高めるために必要な相談・指導等を実施する短期集中予防サービス）として宝塚市より業務委託を受け、公社より療法士を派遣しています。

2025年度は依頼数が少なく、前年度の24回（10名）から7回（3名）と激減しました。当事業はサービス開始決定、周知等すべてを介護保険課が担当され、出務回数等公社は関与できませんが、今後も介護保険課、各地域包括支援センター、居宅支援事業所と連携し、より良いサービスとなるよう取り組んでまいります。

(21) 介護予防普及啓発事業（いきいき百歳体操）

当事業は、高知県高知市発祥の介護予防運動「いきいき百歳体操」を地域住民が主体となって取り組んでいただく宝塚市主催事業です。宝塚市の依頼を受け、運動の指導と管理の為、公社より療法士と看護師を派遣しています。

2025年度は、新規会場、フォローアップ会場ともに出務回数が増加し144回（前年比+31回）となりました。実施内容もいきいき百歳体操以外の内容が求められるようになっていきます。人員配置の都合上これ以上の出務対応は難しく、内容も協定書との齟齬が出てきているため高齢福祉課と協議を持ち、意見のすり合わせを行いました。今後も状況を踏まえながら各機関と連携し事業に取り組んでまいります。

(22) ステップはつらつ体操教室

当事業は、はつらつ高齢者の会の事業の受け皿（高齢者のための体操教室）として介護予防を目的に、公社の自主事業として運動指導員と療法士や看護師が関わり運営しております。継続して通っていただくことで、利用者同士でコミュニケーションをとれる集いの場となり、介護予防・認知症予防の場となっております。

2025年度は人員配置の都合上、池ノ島ゆのゆの体操の会を閉鎖することとなりましたが、その他は大きな問題もなく事業を実施できました。登録人数は微増（96→102）しました。新規利用者も全会場合わせて17名でした。利用者の高齢化による周知方法等が継続的課題となっており、各地域包括支援センターの他、居宅介護支援事業所にも働きかけが必要となっております。今後も引き続き宝塚市の介護予防の一翼を担えるよう取り組んでまいります。

(23) 認定調査ステーション

介護保険認定調査事業は、福祉公社の公益目的事業に位置付けられています。宝塚市から唯一「事務受託法人」として委託を受け、要介護認定を受けようとする市内全域の新規申請者及び第3地区の更新・区分変更の申請者、住民票が他市のまま宝塚市内にお住まいの他市新規申請者の認定調査業務を実施しています。

調査件数を少しでも多く対応していく為、定例の会議を減らし業務用携帯を活用しながら情報共有を実施しました。市から委託される件数に見合う調査員の雇用や勤務形態の難しさはありますが、適正な職員数を見極め、そして研修や同行訪問など育成に努めたことにより、確実に業務を遂行することができました。

介護認定調査員は、介護の専門家として、地域の方々に貢献できるやりがいのある仕事であることを発信しつつ、認定調査員の能力や質の向上を目指していきます。

(24) 視察等受入状況

ア) 視察・施設見学内容

ステップハウス宝塚

4月	介護サービス相談員	2
5月	介護サービス相談員	2
6月	介護サービス相談員	2
7月	介護サービス相談員	2
8月	介護サービス相談員	2
9月	介護サービス相談員	2
10月	介護サービス相談員	2
11月	介護サービス相談員	2
12月	介護サービス相談員	2
1月	介護サービス相談員	2
2月	介護サービス相談員	2
3月	介護サービス相談員	2
計 12 件		24人

イ) 実習・体験学習受入内容

ステップハウス宝塚

4/8～4/25	自衛隊阪神病院准看護学校	13
10/15～10/27	宝塚市立看護専門学校	10
3/2～3/6	学校法人行吉学園神戸女子大学	2
計 3 件		25人

通所リハビリテーション

9/1～9/5	宝塚医療大:リハビリ見学実習	1
2/9～2/13	甲南女子大:リハビリ見学実習	2
計 2 件		3人

ステップこはま訪問看護ステーション

5/15 ～ 5/26	宝塚市立看護専門学校	2
6/3 ～ 6/12	宝塚市立看護専門学校	3
7/1 ～ 7/2	宝塚市立看護専門学校	3
7/3 ～ 7/4	宝塚市立看護専門学校	2
7/17 ～ 7/28	宝塚市立看護専門学校	2
9/2 ～ 9/4	宝塚市立看護専門学校	2
9/18 ～ 9/29	宝塚市立看護専門学校	2
計 7 件		16人

ステップこはまケアプランステーション

3/24～4/10	介護支援専門員実務研修	1
7/2	宝塚市立看護専門学校	1
7/3	宝塚市立看護専門学校	1
7/4	宝塚市立看護専門学校	2
7/5	宝塚市立看護専門学校	1
計 5 件		6 人

ステップごてんやまケアプランステーション

4/11～4/25	介護支援専門員実務研修	1
7/1	宝塚市立看護専門学校	1
7/2	宝塚市立看護専門学校	1
7/3	宝塚市立看護専門学校	1
7/4	宝塚市立看護専門学校	1
計 5 件		5 人

小浜地域包括支援センター

5/14	宝塚市立看護専門学校：地域での生活を支える実習	2
7/1～7/2	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	1
7/3～7/4	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	2
7/16	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	2
9/16	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	2
計 5 件		9 人

御殿山地域包括支援センター

6/16	宝塚市立看護専門学校：地域での生活を支える実習	3
7/1	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	2
7/2	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	2
7/3	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	1
7/4	宝塚市立看護専門学校：地域を知る実習	1
9/8	宝塚市立看護専門学校：地域での生活を支える実習	2
計 6 件		11 人

2025年度
決算報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	456,104	149,088	307,016
基本財産受取利息	456,104	149,088	307,016
特定資産運用益	35,508	404	35,104
特定資産受取利息	35,508	404	35,104
受取会費	0	396,900	△ 396,900
事業収益	1,195,258,387	1,216,599,334	△ 21,340,947
受取補助金等	5,118,157	8,205,886	△ 3,087,729
受取補助金	3,601,800	6,111,000	△ 2,509,200
受取補助金等振替額	1,516,357	2,094,886	△ 578,529
受取寄附金	600,000	630,000	△ 30,000
雑収益	22,893,198	20,288,116	2,605,082
経常収益計	1,224,361,354	1,246,269,728	△ 21,908,374
(2)経常費用			
事業費	1,192,171,078	1,179,590,160	12,580,918
役員報酬	4,290,480	4,299,480	△ 9,000
給料手当	537,809,712	507,449,637	30,360,075
臨時雇賃金	186,892,095	200,596,114	△ 13,704,019
法定福利費	118,257,193	116,649,972	1,607,221
賞与引当金繰入額	41,864,420	53,809,160	△ 11,944,740
退職給付費用	38,478,904	35,198,538	3,280,366
福利厚生費	2,571,119	2,396,367	174,752
職員被服費	371,625	217,921	153,704
旅費交通費	478,798	604,868	△ 126,070
通信運搬費	10,556,687	10,584,166	△ 27,479
減価償却費	26,371,747	22,548,313	3,823,434
消耗品費	16,820,387	18,436,813	△ 1,616,426
医薬品費	5,474,200	5,549,454	△ 75,254
食糧費	3,453,724	3,228,604	225,120
修繕費	4,558,757	4,829,427	△ 270,670
印刷製本費	267,171	1,515,619	△ 1,248,448
燃料費	4,304,961	4,438,765	△ 133,804
光熱水料費	42,179,651	42,746,147	△ 566,496
賃借料	22,035,967	20,857,018	1,178,949
保険料	4,132,297	3,106,976	1,025,321
支払負担金	65,000	60,000	5,000
諸謝金	6,753,773	6,715,731	38,042
租税公課	7,427,496	8,136,132	△ 708,636
報償費	21,137	21,137	0
委託費	98,310,180	94,523,350	3,786,830
地域交流費	110,223	241,426	△ 131,203
研修費	537,930	996,080	△ 458,150
諸会費	807,800	807,800	0
手数料	3,960,573	3,166,954	793,619
支払利息	1,276,006	1,236,311	39,695
雑費	1,731,065	4,621,880	△ 2,890,815

正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	18,319,234	20,013,857	△ 1,694,623
役員報酬	819,120	777,320	41,800
給料手当	6,351,234	6,333,953	17,281
臨時雇賃金	552,514	531,009	21,505
法定福利費	1,347,308	1,409,147	△ 61,839
賞与引当金繰入額	580,180	718,140	△ 137,960
退職給付費用	480,706	707,972	△ 227,266
福利厚生費	45,957	34,747	11,210
採用費	5,322,927	4,747,316	575,611
旅費交通費	7,230	2,172	5,058
通信運搬費	72,350	56,324	16,026
減価償却費	163,619	147,498	16,121
消耗品費	54,005	47,545	6,460
修繕費	163,801	1,970,760	△ 1,806,959
印刷製本費	9,466	17,706	△ 8,240
燃料費	1,276	1,868	△ 592
光熱水料費	48,000	48,000	0
賃借料	171,740	144,671	27,069
保険料	169,041	169,486	△ 445
諸謝金	1,033,044	1,616,480	△ 583,436
租税公課	22,630	6,671	15,959
委託費	376,308	182,160	194,148
研修費	71,880	128,850	△ 56,970
諸会費	11,200	11,200	0
手数料	138,744	128,996	9,748
支払利息	80,702	73,866	6,836
雑費	224,252	0	224,252
經常費用計	1,210,490,312	1,199,604,017	10,886,295
当期經常増減額	13,871,042	46,665,711	△ 32,794,669
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	3,911	148,986	△ 145,075
經常外費用計	3,911	148,986	△ 145,075
当期經常外増減額	△ 3,911	△ 148,986	145,075
税引前当期一般正味財産増減額	13,867,131	46,516,725	△ 32,649,594
法人税、住民税及び事業税	2,089,600	2,136,300	△ 46,700
当期一般正味財産増減額	11,777,531	44,380,425	△ 32,602,894
一般正味財産期首残高	289,412,171	245,031,746	44,380,425
一般正味財産期末残高	301,189,702	289,412,171	11,777,531
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取補助金	0	429,000	△ 429,000
一般正味財産への振替額	△ 1,516,357	△ 2,094,886	578,529
当期指定正味財産増減額	△ 1,516,357	△ 1,665,886	149,529
指定正味財産期首残高	203,813,058	205,478,944	△ 1,665,886
指定正味財産期末残高	202,296,701	203,813,058	△ 1,516,357
III 正味財産期末残高	503,486,403	493,225,229	10,261,174

正味財産増減計算書内訳表

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計			小計	その他会計		法人会計	内部取引消去	合計
	継1	継2	継3		他1	小計			
	教育・啓発事業	地域福祉 サポート事業	認定調査事業		介護保険事業				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	456,104		456,104
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	456,104		456,104
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	35,508		35,508
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	35,508		35,508
事業収益	964,358	29,743,245	29,562,610	60,270,213	1,135,755,108	1,135,755,108	0	△ 766,934	1,195,258,387
受取補助金等	0	0	0	0	4,518,157	4,518,157	600,000		5,118,157
受取補助金	0	0	0	0	3,001,800	3,001,800	600,000		3,601,800
受取補助金等振替額	0	0	0	0	1,516,357	1,516,357	0		1,516,357
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	600,000		600,000
雑収益	0	1,261	0	1,261	21,973,592	21,973,592	918,345		22,893,198
経常収益計	964,358	29,744,506	29,562,610	60,271,474	1,162,246,857	1,162,246,857	2,609,957	△ 766,934	1,224,361,354
(2) 経常費用									
事業費	8,360,937	46,023,404	34,269,714	88,654,055	1,104,283,957	1,104,283,957	0	△ 766,934	1,192,171,078
役員報酬	143,016	119,180	95,344	357,540	3,932,940	3,932,940	0		4,290,480
給料手当	5,551,366	16,471,167	4,887,174	26,909,707	510,900,005	510,900,005	0		537,809,712
臨時雇賃金	165,753	13,452,194	20,254,311	33,872,258	153,019,837	153,019,837	0		186,892,095
法定福利費	1,065,287	5,000,077	3,073,815	9,139,179	109,118,014	109,118,014	0		118,257,193
賞与引当金繰入額	174,054	1,818,805	639,476	2,632,335	39,232,085	39,232,085	0		41,864,420
退職給付費用	144,213	1,083,044	410,061	1,637,318	36,841,586	36,841,586	0		38,478,904
福利厚生費	13,788	129,717	116,310	259,815	2,311,304	2,311,304	0		2,571,119
職員被服費	0	1,430	25,960	27,390	344,235	344,235	0		371,625
旅費交通費	36	32,180	5,554	37,770	441,028	441,028	0		478,798
通信運搬費	139,935	937,708	466,457	1,544,100	9,012,587	9,012,587	0		10,556,687
減価償却費	0	119,990	249,078	369,068	26,002,679	26,002,679	0		26,371,747
消耗品費	268,362	781,778	114,617	1,164,757	15,655,630	15,655,630	0		16,820,387
医薬品費	0	0	0	0	5,474,200	5,474,200	0		5,474,200
食糧費	0	0	0	0	3,453,724	3,453,724	0		3,453,724
修繕費	0	37,551	70,530	108,081	4,450,676	4,450,676	0		4,558,757
印刷製本費	77,638	31,430	1,893	110,961	156,210	156,210	0		267,171
燃料費	381	94,629	85,517	180,527	4,124,434	4,124,434	0		4,304,961
光熱水料費	14,400	165,407	249,600	429,407	41,750,244	41,750,244	0		42,179,651
賃借料	51,525	968,337	992,091	2,011,953	20,024,014	20,024,014	0		22,035,967
保険料	17,873	394,951	168,227	581,051	3,551,246	3,551,246	0		4,132,297
支払負担金	0	65,000	0	65,000	0	0	0		65,000
諸謝金	220,548	321,123	147,032	688,703	6,065,070	6,065,070	0		6,753,773
租税公課	68,153	1,617,241	1,988,413	3,673,807	3,753,689	3,753,689	0		7,427,496
報償費	0	0	0	0	21,137	21,137	0		21,137
委託費	114,422	1,722,883	99,262	1,936,567	97,140,547	97,140,547	0	△ 766,934	98,310,180
地域交流費	0	110,223	0	110,223	0	0	0		110,223
研修費	3,036	2,530	2,024	7,590	530,340	530,340	0		537,930
諸会費	3,360	2,800	2,240	8,400	799,400	799,400	0		807,800
手数料	42,812	474,548	49,342	566,702	3,393,871	3,393,871	0		3,960,573
支払利息	24,210	20,175	16,140	60,525	1,215,481	1,215,481	0		1,276,006
雑費	56,769	47,306	59,246	163,321	1,567,744	1,567,744	0		1,731,065
管理費	0	0	0	0	0	0	18,319,234		18,319,234
役員報酬	0	0	0	0	0	0	819,120		819,120
給料手当	0	0	0	0	0	0	6,351,234		6,351,234
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	552,514		552,514
法定福利費	0	0	0	0	0	0	1,347,308		1,347,308
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	580,180		580,180
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	480,706		480,706
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	45,957		45,957
採用費	0	0	0	0	0	0	5,322,927		5,322,927
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	7,230		7,230
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	72,350		72,350
減価償却費	0	0	0	0	0	0	163,619		163,619
消耗品費	0	0	0	0	0	0	54,005		54,005
修繕費	0	0	0	0	0	0	163,801		163,801
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	9,466		9,466
燃料費	0	0	0	0	0	0	1,276		1,276
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	48,000		48,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	171,740		171,740
保険料	0	0	0	0	0	0	169,041		169,041
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,033,044		1,033,044
租税公課	0	0	0	0	0	0	22,630		22,630
委託費	0	0	0	0	0	0	376,308		376,308
研修費	0	0	0	0	0	0	71,880		71,880
諸会費	0	0	0	0	0	0	11,200		11,200
手数料	0	0	0	0	0	0	138,744		138,744
支払利息	0	0	0	0	0	0	80,702		80,702
雑費	0	0	0	0	0	0	224,252		224,252
経常費用計	8,360,937	46,023,404	34,269,714	88,654,055	1,104,283,957	1,104,283,957	18,319,234	△ 766,934	1,210,490,312
当期経常増減額	△ 7,396,579	△ 16,278,898	△ 4,707,104	△ 28,382,581	57,962,900	57,962,900	△ 15,709,277		13,871,042
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	0	1	1	3,910	3,910	0		3,911
経常外費用計	0	0	1	1	3,910	3,910	0		3,911
当期経常外増減額	0	0	△ 1	△ 1	△ 3,910	△ 3,910	0		△ 3,911
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,396,579	△ 16,278,898	△ 4,707,105	△ 28,382,582	57,958,990	57,958,990	△ 15,709,277		13,867,131
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	2,007,600	2,007,600	82,000		2,089,600
当期一般正味財産増減額	△ 7,396,579	△ 16,278,898	△ 4,707,105	△ 28,382,582	55,951,390	55,951,390	△ 15,791,277		11,777,531
II 指定正味財産増減の部									
受取補助金等									
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 1,516,357	△ 1,516,357	0		△ 1,516,357
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	△ 1,516,357	△ 1,516,357	0		△ 1,516,357

正味財産増減計算書内訳表

2025年4月1日から2026年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科目	実施事業等会計										小計
	継1				継2			継3			
	普及啓発	実習受入	ヘルパー 養成研修	教育・啓発事業	シルバー ハウジング	育児ファミリー	介護ファミリー	通所型介護予防	地域福祉 サポート事業	認定調査事業	
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	307,380	656,978	964,358	14,212,315	10,317,000	1,728,875	3,485,055	29,743,245	29,562,610	60,270,213
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	1,261	0	1,261	0	1,261
経常収益計	0	307,380	656,978	964,358	14,212,315	10,317,000	1,730,136	3,485,055	29,744,506	29,562,610	60,271,474
(2) 経常費用											
事業費	1,340,251	4,953,582	2,067,104	8,360,937	16,413,231	14,872,482	4,663,329	10,074,362	46,023,404	34,269,714	88,654,055
役員報酬	47,672	47,672	47,672	143,016	47,672	23,836	23,836	23,836	119,180	95,344	357,540
給料手当	635,124	3,799,364	1,116,878	5,551,366	4,942,014	6,563,484	△ 84,458	5,050,127	16,471,167	4,887,174	26,909,707
臨時雇賃金	55,251	55,251	55,251	165,753	4,637,113	3,704,473	2,949,246	2,161,362	13,452,194	20,254,311	33,872,258
法定福利費	134,731	729,951	200,605	1,065,287	1,640,118	1,928,020	464,419	967,520	5,000,077	3,073,815	9,139,179
賞与引当金繰入額	58,018	58,018	58,018	174,054	507,578	825,709	49,009	436,509	1,818,805	639,476	2,632,335
退職給付費用	48,071	48,071	48,071	144,213	129,539	497,195	24,035	432,275	1,083,044	410,061	1,637,318
福利厚生費	4,596	4,596	4,596	13,788	14,595	18,297	19,854	76,971	129,717	116,310	259,815
職員被服費	0	0	0	0	0	0	0	1,430	1,430	25,960	27,390
旅費交通費	12	12	12	36	1,212	17,296	13,416	256	32,180	5,554	37,770
通信運搬費	95,645	4,655	39,635	139,935	223,496	470,238	217,842	26,132	937,708	466,457	1,544,100
減価償却費	0	0	0	0	19,826	19,932	20,752	59,480	119,990	249,078	369,068
消耗品費	4,735	4,735	258,892	268,362	686,531	45,686	2,730	46,831	781,778	114,617	1,164,757
医薬品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	2,290	0	0	35,261	37,551	70,530	108,081
印刷製本費	75,746	946	946	77,638	946	22,453	7,558	473	31,430	1,893	110,961
燃料費	127	127	127	381	56,275	64	22,466	15,824	94,629	85,517	180,527
光熱水料費	4,800	4,800	4,800	14,400	158,207	2,400	2,400	2,400	165,407	249,600	429,407
賃借料	17,175	17,175	17,175	51,525	180,788	177,048	587,393	23,108	968,337	992,091	2,011,953
保険料	2,291	2,291	13,291	17,873	37,267	243,305	99,845	14,534	394,951	168,227	581,051
支払負担金	0	0	0	0	0	65,000	0	0	65,000	0	65,000
諸謝金	73,516	73,516	73,516	220,548	73,516	174,091	36,758	36,758	321,123	147,032	688,703
租税公課	1,121	21,772	45,260	68,153	1,271,453	561	114,785	230,442	1,617,241	1,988,413	3,673,807
報償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	37,631	37,631	39,160	114,422	1,626,911	42,840	34,316	18,816	1,722,883	99,262	1,936,567
地域交流費	0	0	0	0	110,223	0	0	0	110,223	0	110,223
研修費	1,012	1,012	1,012	3,036	1,012	506	506	506	2,530	2,024	7,590
諸会費	1,120	1,120	1,120	3,360	1,120	560	560	560	2,800	2,240	8,400
手数料	14,864	13,874	14,074	42,812	16,536	15,992	42,565	399,455	474,548	49,342	566,702
支払利息	8,070	8,070	8,070	24,210	8,070	4,035	4,035	4,035	20,175	16,140	60,525
雑費	18,923	18,923	18,923	56,769	18,923	9,461	9,461	9,461	47,306	59,246	163,321
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
採用費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	1,340,251	4,953,582	2,067,104	8,360,937	16,413,231	14,872,482	4,663,329	10,074,362	46,023,404	34,269,714	88,654,055
当期経常増減額	△ 1,340,251	△ 4,646,202	△ 1,410,126	△ 7,396,579	△ 2,200,916	△ 4,555,482	△ 2,933,193	△ 6,589,307	△ 16,278,898	△ 4,707,104	△ 28,382,581
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 1	△ 1
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,340,251	△ 4,646,202	△ 1,410,126	△ 7,396,579	△ 2,200,916	△ 4,555,482	△ 2,933,193	△ 6,589,307	△ 16,278,898	△ 4,707,105	△ 28,382,582
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,340,251	△ 4,646,202	△ 1,410,126	△ 7,396,579	△ 2,200,916	△ 4,555,482	△ 2,933,193	△ 6,589,307	△ 16,278,898	△ 4,707,105	△ 28,382,582
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表

2025年4月1日から2026年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科 目	その他会計							
	訪問看護	介護老人 保健施設	通所リハビリ	訪問リハビリ	ごてんやま 居宅介護	こはま居宅介護	こはま訪問介護	通所介護
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	69,419,175	503,195,046	86,357,474	15,287,024	45,297,267	38,200,958	45,774,279	111,694,036
受取補助金等	409,095	1,721,412	0	0	13,700	0	0	360,250
受取補助金	203,000	567,900	0	0	13,700	0	0	203,500
受取補助金等振替額	206,095	1,153,512	0	0	0	0	0	156,750
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	414,511	10,387,500	820,890	333	63,000	3,300	28,845	2,823,615
経常収益計	70,242,781	515,303,958	87,178,364	15,287,357	45,373,967	38,204,258	45,803,124	114,877,901
(2) 経常費用								
事業費	68,482,281	467,756,885	83,196,238	13,541,572	35,863,535	39,758,979	45,872,426	134,062,940
役員報酬	381,376	1,382,488	429,048	95,344	238,360	238,360	190,688	429,048
給料手当	37,058,595	219,524,898	30,110,291	6,450,294	14,849,893	22,024,868	19,773,982	41,681,748
臨時雇賃金	11,235,365	29,789,613	17,118,843	3,423,421	8,408,819	6,185,371	13,555,642	35,590,338
法定福利費	7,993,968	40,303,936	7,039,063	1,758,428	3,868,338	5,077,604	5,190,353	12,716,550
賞与引当金繰入額	2,170,864	16,618,547	2,501,387	560,686	1,289,270	1,753,170	1,655,832	3,421,102
退職給付費用	2,794,334	15,870,537	2,311,334	495,246	1,113,804	1,340,874	1,112,787	2,916,208
福利厚生費	166,385	1,016,529	184,698	21,858	70,310	74,373	143,479	219,255
職員被服費	14,850	110,885	34,010	11,990	22,880	0	3,410	143,055
旅費交通費	61,296	82,696	3,508	24	8,980	260	848	7,408
通信運搬費	1,702,241	1,518,247	222,537	83,991	513,914	411,349	771,977	728,534
減価償却費	1,363,736	9,947,540	2,652,946	64,304	1,472,725	897,874	1,324,732	4,259,910
消耗品費	416,943	10,449,636	971,933	75,424	296,474	103,853	209,125	1,203,594
医薬品費	0	5,464,098	0	0	0	0	0	10,102
食糧費	0	2,751,929	245,273	0	0	0	0	456,522
修繕費	114,451	2,496,353	128,195	37,985	148,959	47,755	245,204	580,800
印刷製本費	22,202	40,896	8,518	1,893	4,732	4,732	28,453	18,217
燃料費	202,322	3,696	1,201,792	30,081	74,915	50,557	150,598	1,959,890
光熱水料費	278,400	26,811,550	6,708,676	9,600	209,585	264,000	259,200	6,455,666
賃借料	609,965	2,159,464	2,670,934	61,662	1,894,789	329,960	287,724	5,632,030
保険料	359,261	269,835	592,065	48,141	169,177	82,967	173,112	1,081,046
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	588,128	2,131,964	661,644	147,032	367,580	367,580	294,064	661,644
租税公課	48,004	1,950,894	139,535	2,302	9,838	15,827	33,837	168,909
報償費	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	325,048	73,849,850	6,769,877	75,262	510,867	212,155	174,524	12,823,086
地域交流費	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	58,096	130,568	9,108	2,024	8,060	26,460	4,048	9,108
諸会費	47,335	668,855	13,455	2,240	8,975	8,975	7,855	13,455
手数料	253,173	1,512,637	130,514	28,354	167,327	105,091	172,631	374,415
支払利息	64,560	349,981	166,748	16,140	40,350	40,350	32,280	324,736
雑費	151,383	548,763	170,306	37,846	94,614	94,614	76,041	176,564
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
採用費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	68,482,281	467,756,885	83,196,238	13,541,572	35,863,535	39,758,979	45,872,426	134,062,940
当期経常増減額	1,760,500	47,547,073	3,982,126	1,745,785	9,510,432	△ 1,554,721	△ 69,302	△ 19,185,039
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	1,956	1,954	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	1,956	1,954	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	△ 1,956	△ 1,954	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,760,500	47,545,117	3,980,172	1,745,785	9,510,432	△ 1,554,721	△ 69,302	△ 19,185,039
法人税、住民税及び事業税	44,136	1,191,956	99,783	43,767	238,427	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,716,364	46,353,161	3,880,389	1,702,018	9,272,005	△ 1,554,721	△ 69,302	△ 19,185,039
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
一般正味財産への振替額	△ 206,095	△ 1,153,512	0	0	0	0	0	△ 156,750
当期指定正味財産増減額	△ 206,095	△ 1,153,512	0	0	0	0	0	△ 156,750

正味財産増減計算書内訳表

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

科 目	その他会計					小計	法人会計	内部取引消去	合計
	定期巡回	ベルフラワー	御殿山地域包括	小浜地域包括	介護保険事業				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	456,104		456,104
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	456,104		456,104
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	35,508		35,508
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	35,508		35,508
事業収益	55,578,217	48,863,368	65,069,456	51,018,808	1,135,755,108	1,135,755,108	0	△ 766,934	1,195,258,387
受取補助金等	0	2,013,700	0	0	4,518,157	4,518,157	600,000		5,118,157
受取補助金	0	2,013,700	0	0	3,001,800	3,001,800	600,000		3,601,800
受取補助金等振替額	0	0	0	0	1,516,357	1,516,357	0		1,516,357
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	600,000		600,000
雑収益	35,000	7,299,598	97,000	0	21,973,592	21,973,592	918,345		22,893,198
経常収益計	55,613,217	58,176,666	65,166,456	51,018,808	1,162,246,857	1,162,246,857	2,609,957	△ 766,934	1,224,361,354
(2) 経常費用									
事業費	56,924,905	53,415,233	60,284,479	45,124,484	1,104,283,957	1,104,283,957	0	△ 766,934	1,192,171,078
役員報酬	381,376	47,672	71,508	47,672	3,932,940	3,932,940	0		4,290,480
給料手当	27,751,850	35,653,537	33,116,908	22,903,141	510,900,005	510,900,005	0		537,809,712
臨時雇賃金	11,424,160	211,651	7,562,112	8,514,502	153,019,837	153,019,837	0		186,892,095
法定福利費	7,114,942	6,118,801	6,734,701	5,201,330	109,118,014	109,118,014	0		118,257,193
賞与引当金繰入額	2,189,164	2,375,918	2,562,427	2,133,718	39,232,085	39,232,085	0		41,864,420
退職給付費用	1,912,244	2,583,681	2,669,896	1,720,641	36,841,586	36,841,586	0		38,478,904
福利厚生費	129,625	115,430	100,999	68,363	2,311,304	2,311,304	0		2,571,119
職員被服費	3,155	0	0	0	344,235	344,235	0		371,625
旅費交通費	4,016	211,702	35,318	24,972	441,028	441,028	0		478,798
通信運搬費	605,385	424,731	1,261,384	768,297	9,012,587	9,012,587	0		10,556,687
減価償却費	1,401,865	220,327	1,246,592	1,150,128	26,002,679	26,002,679	0		26,371,747
消耗品費	215,766	401,948	494,538	816,396	15,655,630	15,655,630	0		16,820,387
医薬品費	0	0	0	0	5,474,200	5,474,200	0		5,474,200
食糧費	0	0	0	0	3,453,724	3,453,724	0		3,453,724
修繕費	186,623	92,160	298,001	74,190	4,450,676	4,450,676	0		4,558,757
印刷製本費	12,165	946	5,810	7,646	156,210	156,210	0		267,171
燃料費	156,629	139,656	92,127	62,171	4,124,434	4,124,434	0		4,304,961
光熱水料費	278,400	97,582	192,785	184,800	41,750,244	41,750,244	0		42,179,651
賃借料	380,375	2,658,132	2,456,021	882,958	20,024,014	20,024,014	0		22,035,967
保険料	161,989	201,263	226,989	185,401	3,551,246	3,551,246	0		4,132,297
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0		65,000
諸謝金	588,128	73,516	110,274	73,516	6,065,070	6,065,070	0		6,753,773
租税公課	11,319	1,363,904	8,199	1,121	3,753,689	3,753,689	0		7,427,496
報償費	0	0	10,000	11,137	21,137	21,137	0		21,137
委託費	1,565,581	185,567	599,099	49,631	97,140,547	97,140,547	0	△ 766,934	98,310,180
地域交流費	0	0	0	0	0	0	0		110,223
研修費	8,096	163,482	81,678	29,612	530,340	530,340	0		537,930
諸会費	24,335	1,120	1,680	1,120	799,400	799,400	0		807,800
手数料	180,266	45,514	258,750	165,199	3,393,871	3,393,871	0		3,960,573
支払利息	86,068	8,070	58,299	27,899	1,215,481	1,215,481	0		1,276,006
雑費	151,383	18,923	28,384	18,923	1,567,744	1,567,744	0		1,731,065
管理費	0	0	0	0	0	0	18,319,234		18,319,234
役員報酬	0	0	0	0	0	0	819,120		819,120
給料手当	0	0	0	0	0	0	6,351,234		6,351,234
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	552,514		552,514
法定福利費	0	0	0	0	0	0	1,347,308		1,347,308
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	580,180		580,180
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	480,706		480,706
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	45,957		45,957
採用費	0	0	0	0	0	0	5,322,927		5,322,927
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	7,230		7,230
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	72,350		72,350
減価償却費	0	0	0	0	0	0	163,619		163,619
消耗品費	0	0	0	0	0	0	54,005		54,005
修繕費	0	0	0	0	0	0	163,801		163,801
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	9,466		9,466
燃料費	0	0	0	0	0	0	1,276		1,276
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	48,000		48,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	171,740		171,740
保険料	0	0	0	0	0	0	169,041		169,041
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,033,044		1,033,044
租税公課	0	0	0	0	0	0	22,630		22,630
委託費	0	0	0	0	0	0	376,308		376,308
研修費	0	0	0	0	0	0	71,880		71,880
諸会費	0	0	0	0	0	0	11,200		11,200
手数料	0	0	0	0	0	0	138,744		138,744
支払利息	0	0	0	0	0	0	80,702		80,702
雑費	0	0	0	0	0	0	224,252		224,252
経常費用計	56,924,905	53,415,233	60,284,479	45,124,484	1,104,283,957	1,104,283,957	18,319,234	△ 766,934	1,210,490,312
当期経常増減額	△ 1,311,688	4,761,433	4,881,977	5,894,324	57,962,900	57,962,900	△ 15,709,277		13,871,042
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	0	0	0	3,910	3,910	0		3,911
経常外費用計	0	0	0	0	3,910	3,910	0		3,911
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 3,910	△ 3,910	0		△ 3,911
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,311,688	4,761,433	4,881,977	5,894,324	57,958,990	57,958,990	△ 15,709,277		13,867,131
法人税、住民税及び事業税	0	119,369	122,391	147,771	2,007,600	2,007,600	82,000		2,089,600
当期一般正味財産増減額	△ 1,311,688	4,642,064	4,759,586	5,746,553	55,951,390	55,951,390	△ 15,791,277		11,777,531
II 指定正味財産増減の部									
受取補助金等	0	0	0	0	△ 1,516,357	△ 1,516,357	0		△ 1,516,357
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 1,516,357	△ 1,516,357	0		△ 1,516,357
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	△ 1,516,357	△ 1,516,357	0		△ 1,516,357

貸借対照表

2026年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	147,699,622	170,881,291	△ 23,181,669
未 収 収 金	184,590,027	176,864,720	7,725,307
未 収 収 益	156,586	85,696	70,890
前 払 払 金	860,890	319,800	541,090
前 払 費 用	4,763,450	2,420,849	2,342,601
立 替 金	80,884	40,010	40,874
流動資産合計	338,151,459	350,612,366	△ 12,460,907
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	149,000,000	149,000,000	0
投 資 有 価 証 券	51,000,000	51,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
修 繕 積 立 資 産	20,000,000	10,000,000	10,000,000
建 物 附 属 設 備	3,701,409	4,279,954	△ 578,545
車 両 運 搬 具 品	1	1	0
什 器 備 品	2,963,591	4,199,628	△ 1,236,037
特定資産合計	26,665,001	18,479,583	8,185,418
(3) その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	1,540,207	1,725,326	△ 185,119
構 築 物 附 属 設 備	27,770,334	31,370,256	△ 3,599,922
車 両 運 搬 具 品	273,630	322,559	△ 48,929
什 器 備 品	7,050,596	9,054,722	△ 2,004,126
ソ フ ト ウ ェ ア	29,067,460	28,718,919	348,541
保 証 資 金	944,902	1,310,102	△ 365,200
出 資 金	500,000	500,000	0
出 資 金	200,000	200,000	0
その他固定資産合計	67,347,129	73,201,884	△ 5,854,755
固定資産合計	294,012,130	291,681,467	2,330,663
資産合計	632,163,589	642,293,833	△ 10,130,244
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 払 金	44,451,099	45,087,015	△ 635,916
未 払 消 費 税	2,089,600	2,136,300	△ 46,700
未 払 消 費 税	1,238,700	2,257,900	△ 1,019,200
未 払 費 用	11,125,170	13,594,792	△ 2,469,622
預 り 金	4,227,260	5,666,348	△ 1,439,088
賞 与 引 当 金	42,444,600	54,527,300	△ 12,082,700
1年内返済予定リース債務	6,550,872	10,594,824	△ 4,043,952
流動負債合計	112,127,301	133,864,479	△ 21,737,178
2. 固定負債			
リ ー ス 債 務	16,549,885	15,204,125	1,345,760
固定負債合計	16,549,885	15,204,125	1,345,760
負債合計	128,677,186	149,068,604	△ 20,391,418
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
定 期 預 金	149,000,000	149,000,000	0
投 資 有 価 証 券	51,000,000	51,000,000	0
建 物 附 属 設 備	1,859,959	2,438,504	△ 578,545
車 両 運 搬 具 品	1	1	0
什 器 備 品	436,741	1,374,553	△ 937,812
指定正味財産合計	202,296,701	203,813,058	△ 1,516,357
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(2,296,701)	(3,813,058)	△ 1,516,357
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	301,189,702	289,412,171	11,777,531
(うち特定資産への充当額)	(24,368,300)	(14,666,525)	9,701,775
正味財産合計	503,486,403	493,225,229	10,261,174
負債及び正味財産合計	632,163,589	642,293,833	△ 10,130,244

財産目録

2026年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
(流動資産)	現金	手元保管		420,000
	預金	郵便貯金 郵便貯金 (1120-3-68145)	運転資金として	420,000
			運転資金として	1,008,194
	未収金 未収収益 前払金 前払費用 立替金	普通預金 三菱UFJ銀行 宝塚中山支店 (3680612)		1,008,194
				146,271,428
				146,271,428
主として介護報酬等			184,590,027	
		定期預金利息の未収分	156,586	
		4月分の前払家賃・駐車場代 他	860,890	
		保険料、システム保守料 他	4,763,450	
		提供会員報酬、職員食の立替払い 他	80,884	
流動資産合計				338,151,459
(固定資産)				
基本財産				
(固定資産)	預金	定期預金 尼崎信用金庫 宝塚支店	運用益を介護保険事業等の 財源として使用	149,000,000
				70,000,000
	投資有価証券	池田泉州銀行 逆瀬川支店	投資有価証券	79,000,000
			SMBC日興証券(株) 神戸支店	51,000,000
特定資産				
(固定資産)	修繕積立資産	定期預金 尼崎信用金庫 宝塚支店	介護保険事業等の積立資産を 資産修繕資金として管理	20,000,000
				10,000,000
(固定資産)	建物附属設備 車両運搬具 什器備品	池田泉州銀行 逆瀬川支店	介護老人保健施設、定期巡回随時 対応型訪問介護看護事業、通所 介護事業、訪問看護事業に使用	10,000,000
				3,701,409
その他				
(固定資産)	建物 建物附属設備 構築物 車両運搬具 什器備品 ソフトウェア 保証金 出資金	宝塚市小浜4-5-6	介護保険事業等の施設として使用	2,963,591
				1,540,207
				27,770,334
				273,630
				7,050,596
				29,067,460
				944,902
	500,000			
	200,000			
固定資産合計				294,012,130
資産合計				632,163,589
(流動負債)				
(流動負債)	未払金	宝塚石油他58件に 対する 他	介護保険事業等に供する備品 購入等の未払分 他	44,451,099
				2,089,600
	未払法人税等 未払消費税等 未払費用		法定福利費 夏季賞与(10~3月分)の 未払分 他	1,238,700
			社会保険料、住民税等の預り分 従業員252名に対する賞与の 支払いに備えたもの	11,125,170
	預り金 賞与引当金			4,227,260
1年内返済予定 リース債務	車両運搬具、什器備品		42,444,600	
			6,550,872	
流動負債合計				112,127,301
(固定負債)				
(固定負債)	リース債務	車両運搬具、什器備品		16,549,885
固定負債合計				16,549,885
負債合計				128,677,186
正味財産				503,486,403

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額による。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産(建物、構築物)・・・定額法による。
有形固定資産(建物附属設備)・・・定率法による。
ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法による。
有形固定資産(車両運搬具、什器備品)・・・定率法による。
無形固定資産(ソフトウェア)・・・定額法による。
リース資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)
・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。
リース資産(所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産)
・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法による。
- (3) 引当金の計上基準
賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理について
消費税等の会計処理は、税込方式による。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	149,000,000	0	0	149,000,000
投資有価証券	51,000,000	0	0	51,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
修繕積立資産	10,000,000	10,000,000	0	20,000,000
建物附属設備	4,279,954	0	578,545	3,701,409
車両運搬具	1	0	0	1
什器備品	4,199,628	0	1,236,037	2,963,591
小 計	18,479,583	10,000,000	1,814,582	26,665,001
合 計	218,479,583	10,000,000	1,814,582	226,665,001

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	149,000,000	(149,000,000)	0	—
投資有価証券	51,000,000	(51,000,000)	0	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	0	—
特定資産				
修繕積立資産	20,000,000	0	(20,000,000)	—
建物附属設備	3,701,409	(1,859,959)	(1,841,450)	—
車両運搬具	1	(1)	0	—
什器備品	2,963,591	(436,741)	(2,526,850)	—
小 計	26,665,001	(2,296,701)	(24,368,300)	—
合 計	226,665,001	(202,296,701)	(24,368,300)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物附属設備	5,785,450	2,084,041	3,701,409
車両運搬具	132,640	132,639	1
什器備品	8,589,075	5,625,484	2,963,591
小 計	14,507,165	7,842,164	6,665,001
その他固定資産			
建物	4,295,500	2,755,293	1,540,207
建物附属設備	88,549,562	60,779,228	27,770,334
構築物	5,695,830	5,422,200	273,630
車両運搬具	30,650,839	23,600,243	7,050,596
什器備品	120,632,642	91,565,182	29,067,460
ソフトウェア	3,381,650	2,436,748	944,902
小 計	253,206,023	186,558,894	66,647,129
合 計	267,713,188	194,401,058	73,312,130

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
兵庫県公募公債	40,000,000	38,868,000	△ 1,132,000
神戸市こうべ市民債	11,000,000	10,663,400	△ 336,600
合 計	51,000,000	49,531,400	△ 1,468,600

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
定期巡回事業補助金	宝塚市	1	0	0	1	指定正味財産
介護老人保健施設労働環境改善支援事業補助金	兵庫県	2,160,816	0	769,575	1,391,241	指定正味財産
介護老人保健施設福祉機器整備補助金	(公財)JKA	383,937	0	383,937	0	指定正味財産
通所介護事業業務効率化支援事業補助金	兵庫県	898,188	0	156,750	741,438	指定正味財産
訪問看護事業資格確認端末購入補助金	社保基金	370,116	0	206,095	164,021	指定正味財産
合計		3,813,058	0	1,516,357	2,296,701	-

7 リース取引関係

(ファイナンス・リース取引)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容:その他固定資産…車両運搬具及び什器備品

(オペレーティング・リース取引)

未経過リース料期末残高相当額

解約不能なオペレーティング・リース取引に係る未経過リース料

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	541,200	2,570,700	3,111,900

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	1,516,357
合計	1,516,357

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、記載を省略しております。

2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	54,527,300	42,444,600	54,527,300	0	42,444,600
合 計	54,527,300	42,444,600	54,527,300	0	42,444,600

監査報告書

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

監 査 報 告

2026年5月25日

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社
理事長 妙中 信之 殿

監事 松 尾 隆 寛



監事 西 尾 晃 一



私たち監事は、2025年4月1日から2026年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事務所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等の監査結果

財務諸表等は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上

